



2020年3月18日

パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社 パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

ネットワークカメラ内で画像分析することでシステムの負荷分散を実現

i-PRO EXTREME シリーズ AI ネットワークカメラ 3 機種・拡張ソフトウェア 2 種を発売

ネットワークカメラ 1 台に最大 3 つのアプリケーションを追加可能

品 名	ネットワークカメラ		
タイプ	屋外バンダルドーム	屋内ドーム(耐衝撃)	屋外ボックス
品 番	WV-X2533LNJ	WV-X2232LJ	WV-X1534LNJ
本体希望価格	オープン価格		
発売時期	2020 年 7 月		

品 名	機能拡張ソフトウェア		
タイプ	AI 動体検知アプリケーション	AI プライバシーガードアプリケーション	
品 番	WV-XAE200W	WV-XAE201W	
本体希望価格	オープン価格		
発売時期	2020 年 7 月		

パナソニックi-produvシングソリューションズ株式会社(本社:福岡県福岡市、代表取締役社長:尾崎 祥平)は、セキュリティシステム i-prod Extremeシリーズの新製品で AI プロセッサーを搭載したネットワークカメラ「X シリーズ I3 機種と、AI プロセッサーに対応した機能拡張ソフトウェア 2 種を 2020 年 7 月より発売します。

ディープラーニングを始めとした人工知能(AI)を活用したシステムの普及がさまざまな分野で進む中、セキュリティ業界においても AI の活用で多くの課題を解決することが可能になってきています。AI による高精度な解析によって、従来は人手にたよっていた監視防犯業務をより効率的に運営することが可能になり、多種多様な現場における働き方改革にも貢献します。

今回発売するネットワークカメラ 3 機種には、ネットワークカメラ本体にシリーズ初となる、専用の AI プロセッサーを搭載しています。この AI プロセッサーによって、従来のネットワークカメラでは難しかった映像の分析・解析等の高負荷の AI 処理をカメラ内で行うことで、サーバー側で行っていた AI 処理の負荷が分散され、監視システム全体を効率よく構築、運用することが可能です。また、分析・解析した結果をさまざまな外部機器と連携させることで、幅広いニーズに合わせたソリューションの提供が可能です。

Panasonic



ネットワークカメラ 3 機種に搭載している AI プロセッサーは最大 3 つのアプリケーションを追加できる構造です。この AI プロセッサーに対応した機能拡張ソフトウェアとして、『AI 動体検知アプリケーション』と『AI プライバシーガードアプリケーション』の 2 種を同時発売します。また、サードパーティで AI ネットワークカメラにインストールするアプリケーションの開発を可能にするソフトウェア開発キット(i-PRO Camera SDK)*1の提供も行います。

今回発表したネットワークカメラとソフトウェアは、パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社 (本社:東京都中央区、代表取締役社長:片倉 達夫) を通じて販売します。

今後もラインナップをさらに強化し、ますます多様化・高度化するお客様のニーズに対応したさまざまな製品、ソリューションを提供してまいります。

-く主な特長>-

- 1. システムの負荷分散を実現する AI プロセッサーをネットワークカメラ内に搭載
- 2. AI 処理により、これまで以上に高精度な検知、識別、判定を実行し、 画質の向上にも貢献、監視防犯業務にいっそう適した映像を実現
- 3. ネットワークカメラ 1 台に最大3つの AI アプリケーションを追加可能。 サードパーティによるアプリケーション開発も可能、ネットワークカメラの可能性が拡が

※1 i-PRO Camera SDK (Software Development Kit) の提供には秘密保持契約の締結が必要となります。
また、サードパーティによるアプリケーションを使用する場合、AI プロセッサー解除ライセンス (WV-XLE001W) が必要になる場合があります。

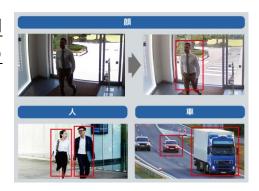
【主な特長】

1. システムの負荷分散を実現する AI プロセッサーをネットワークカメラ内に搭載

ネットワークカメラ本体に AI プロセッサーを搭載しました。さまざまなアプリケーションを追加することで、カメラが捉えた映像を自ら解析し、解析結果など必要となる情報を映像と合わせて上位システムに受け渡すことが可能です。 人が介在することなく、AI が自動識別、判定を行い、高い精度での認識結果を通知し、大幅な省力化を可能にします。カメラ側で複雑な処理を行う「エッジ処理」という考え方で、上位のシステムやサーバー側の負荷を軽減し、効率的なシステムの構築や運用を実現します。

2. AI 処理により、これまで以上に高精度な検知、識別、判定を実行し、画質の向上にも貢献、監視防犯業務にいっそう適した映像を実現

カメラ内で実行される AI 処理により、これまで以上に高精度な検知、識別、判定を行うことができます。時間や天候、季節などで変化する周辺環境へ自動的に対応し、従来のカメラでは困難だった環境下での認識性を向上させました。カメラの周辺状況を AI 処理により解



析し、最も適した設定を自動選択することにより、露光やシャッタースピードを最適化する従来のインテリジェントオート(iA)機能にもさらに磨きがかかり、結果として監視防犯業務にいっそう適した映像が捉えられます。

Panasonic

!ii·PRO

3. ネットワークカメラ 1 台に最大 3 つのアプリケーションを追加可能。サードパーティによるアプリケーション開発も可能で、ネットワークカメラの可能性が拡大

ネットワークカメラ 3 機種に搭載している AI プロセッサーは最大 3 つのアプリケーションを追加できる構造です。ネットワークカメラ本体に搭載された AI プロセッサーを活用して、さまざまな分野、市場に適したアプリケーションを追加することで、お客様のニーズにお応えします。

今回 AI ネットワークカメラに対応したアプリケーションとして、『AI 動体検知アプリケーション』、『AI プライバシーガードアプリケーション』の 2 種を同時販売します。

『AI 動体検知アプリケーション (WV-XAE200W)』

任意に指定されたエリアへの進入を自動で判別し、警告の通知などを行います。進入したものが自動車(4輪車)、バイク、自転車(2輪車)、人なのか自動で判別可能です。車両禁止エリアへの車両の侵入、車両専用エリアへの人の侵入などを自動で検知します。



『AI プライバシーガードアプリケーション (WV-XAE201W)』

カメラに映った人の顔や姿全体に、自動でモザイクをかけることが可能です。映り込んだ人のプライバシーや肖像権保護のため、映像上で個人を特定できないようにします。例えば、工場の生産ラインの状態監視を行うような場合、そこで作業する従業員のプライバシーへの配慮や、スーパーなどで売り場の映像を店内に流すような場合でも買い物客の個人が特定できないようにするといった対応が可能です。



今回の製品発売に併せて、サードパーティ向けにソフトウェア開発キット(i-PRO Camera SDK)の提供も開始します。AI プロセッサーを搭載したネットワークカメラの機能を最大限に引き出し、お客様のさまざまなご要望にお応えするアプリケーションの開発をサードパーティで行うことができるオープンプラットフォームに対応します。さまざまな分野、市場にノウハウを持ったサードパーティと連携が可能になることで、ネットワークカメラの活用範囲が最大限に拡がります。

以上







上記の商品写真は

「Panasonic Newsroom Japan」(URL: https://news.panasonic.com/jp/press/)の各リリースのページよりダウンロードができます。

i-PRO EXTREME シリーズ

IoT の時代において、セキュリティシステムの役割も、映像を含むさまざまなデータを取得し、解析した情報を活用する形に大きく変わってきております。i-PRO EXTREME シリーズでは、必要な情報を得るセンシングデバイスと、情報を統合解析し活用につなげるアナリティクスを、トータル提供することを目指しています。また、自動シーン認識技術による識別しやすい映像取得やデータの高圧縮を実現し、さらに、脅威を増すサイバー攻撃などのセキュリティリスクへの対策として、エンドトゥエンド(入口から出口まで)でのデータセキュリティに本格対応しています。

パナソニックi-PR Oセンシングソリューションズ株式会社



::i·PRO

パナソニックi-PROセンシングソリューションズ株式会社は、セキュリティ監視、パブリックセーフティ、そして医療用イメージングの各分野に欠かせない、センシングソリューションの世界的なリーディングカンパニーです。パナソニックにおける 60 年以上にわたる数々のセンシング技術とイノベーションを継承し、2019 年に設立されました。

私たちは、一瞬も見逃さない高度なセンシング技術とあらゆる環境に対応する信頼性の高いソリューションで、人々の命を守り救 うプロフェッショナルをサポートし、より安心安全な社会の実現に貢献します。

プレスリリースの内容は発表時のものです。

製品の発売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

■監視・防犯システム ホームページ

https://sol.panasonic.biz/security/





<パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社の概要>

代表者	代表取締役社長 尾崎 祥平	
本社所在地	福岡市博多区美野島 4 丁目 1 番 62 号	
設立	2019年10月1日	
事業内容	セキュリティ・医療・産業分野向け機器・モジュールの開発、製造、販売	
	システムインテグレーション、施工、保守、メンテナンス及びこれらに関するサービスを含む	
	各種ソリューションの提供	
URL	https://ipro.panasonic.com/jp/	

<パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社の概要>

代表者	代表取締役社長 片倉 達夫
本社所在地	東京都中央区銀座8丁目21番1号
設立	2017年4月1日
事業内容	システムインテグレーション等
URL	https://www.panasonic.com/jp/company/pssj/company.html

【報道関係者様 お問合せ先】

商品に関する詳細:

パナソニック i-PRO センシングソリューションズ株式会社 広報

Email: press_i-pro@gg.jp.panasonic.com

販売に関する詳細:

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 パブリックリレーションズ部

Email: em-prpart@ml.jp.panasonic.com

【一般のお客様 お問合せ先】

パナソニックシステムお客様ご相談センター

電話: 0120-878-410

(受付:9時~17時30分<土・日・祝日は受付のみ>)